

第49期
中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

証券コード：6927

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第49期事業年度における中間連結会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の業績ならびに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、円安メリットや原材料価格高騰の一部を価格に転嫁できたこと等により輸出企業を中心に企業収益が好転するとともに、雇用や所得環境の改善がみられることから、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界経済はウクライナ情勢の長期化や中東地域での紛争、継続するエネルギー価格の高騰や原材料不足、さらには金融資本市場の変動等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

また、当社グループの主要マーケットである中国を中心としたアジア市場は、中国において一部ITやEV関連分野が堅調に推移しているものの、中国全体としての経済成長は鈍化しており、政府による各種経済政策の効果も限定的であることから、企業の設備投資意欲は依然として慎重な姿勢であり、先行き不透明な状況で推移しました。

なお、2024年7月13日に公表いたしました「株式会社RS Technologiesによる当社株券に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社RS Technologiesによる当社の普通株式に対する公開買付けは不成立となりました。当社グループは、従来同様持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、グループ一丸となって努めてまいります。

また、2024年11月5日に公表いたしました「株主還元方針の変更及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載のとおり、今年度を含む向こう3期間につきましては、将来の成長戦略実現に向けた経営基盤強化の時期と位置付け、同期間中は、主にインカムゲインで株主のみなさまに報いる方針といたしました。自己資本の活用による成長戦略実現に向けた投資の積極的な検討に加えて、株主還元を強化し、自己資本の増加をコントロールすることで、中長期的な資本効率の向上にもつなげていきたいと考えております。

このような経営環境のなか、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ12億98百万円（38.0%）増収の47億14百万円となり、営業利益は3億53百万円（401.9%）増の4億41百万円、経常利益は3億66百万円（433.2%）増の4億51百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は8億79百万円（71.5%）減の3億50百万円となりました。

なお、前年同期においては、当社連結子会社が有する投資有価証券を売却したことにより、投資有価証券売却益（特別利益）16億53百万円を計上しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

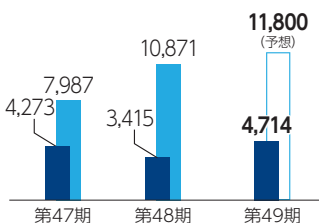


代表取締役社長 佐藤 良久

連結業績ハイライト

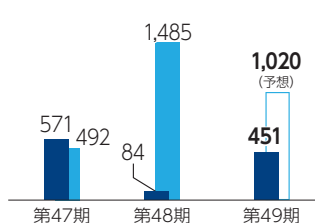
■ 売上高

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)



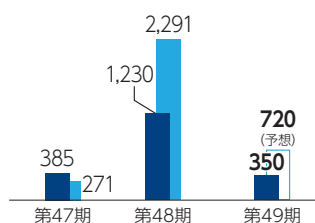
■ 経常利益

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)



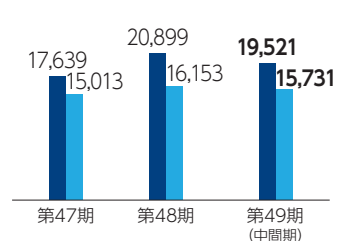
■ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)



■ 総資産/純資産

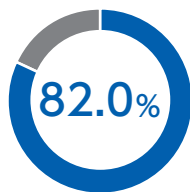
■ 総資産 ■ 純資産 (単位：百万円)



セグメントの概況

製造装置事業

売上構成比率



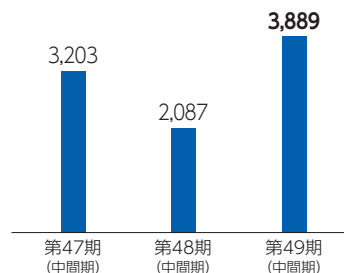
売上高 3,889百万円

製造装置事業につきましては、当社グループの主力製品である配向膜印刷装置及び露光装置用光源ユニットの出荷・検収が一部前倒しで計上される等、効率的に行われたことにより、製造コストが低減され、売上及び利益の両面において順調に推移しました。なお、前連結会計年度において主力製品である配向膜印刷装置やインクジェット印刷装置、露光装置用光源ユニット等の出荷・検収スケジュールが前第3四半期連結会計期間以降に集中したこと等により、前年同期と比し実績は大幅な増収増益となっております。

以上の結果、当中間連結会計期間において、売上高は前年同期比86.3%増収の38億89百万円、セグメント利益は、前年同期比676.3%増の8億8百万円となりました。

売上高

(単位：百万円)



ランプ事業

売上構成比率



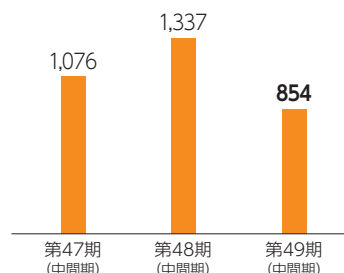
売上高 854百万円

ランプ事業につきましては、産業用ランプの主力製品である露光装置用光源ユニット用ランプの出荷が計画どおり順調に推移したものの、産業用LED関連製品の開発・評価に遅延が生じていること及び一般照明用LED商品の出荷が計画未達となったことにより、計画及び前年同期と比し、実績は減収減益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、売上高は前年同期比36.1%減収の8億54百万円、セグメント損失は、5百万円(前年同期はセグメント利益1億98百万円)となりました。

売上高

(単位：百万円)



会社概要

(2024年9月30日現在)

商号	ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 Helios Techno Holding Co.,Ltd.
本社	東京都中央区日本橋馬喰町1-11-10 Daiwa日本橋馬喰町II 8F
設立	1976年10月
資本金	2,133百万円
ホームページ	https://www.heliostec-hd.co.jp
グループ会社	フェニックス電機株式会社 株式会社ルクス ナカンテクノ株式会社 株式会社リードテック

役員

(2024年9月30日現在)

代表取締役社長	佐藤 良久
常務取締役	秋葉 泰
取締役	名倉 啓太
取締役	木下 玲子
常勤監査役	鬼塚 達哉
監査役	鈴木 智子
監査役	木内 敬

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日 (中間配当を行う場合)
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

Helios Techno | ヘリオス テクノ ホールディング株式会社



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915



GREEN PRINTING JPPI
P-A10007



環境にやさしい植物油インキ(ベジタブルインキ)を使用しています。